

住宅供給公社保全課		
課 長	係 長	係 員

施 工 計 画 書

令和 年 月 日

(あて先)

福岡市住宅供給公社理事長

請負者 住 所

氏 名 印

作成者 (現場代理人)

氏 名 印
(電話番号)

令和 年 月 日契約した請負工事の施工について、次のように計画しましたので提出します。

1 契約件名

2 履行場所 福岡市 区 丁目 番 号

3 契約金額

4 履行期間 令和 年 月 日 から

令和 年 月 日 まで

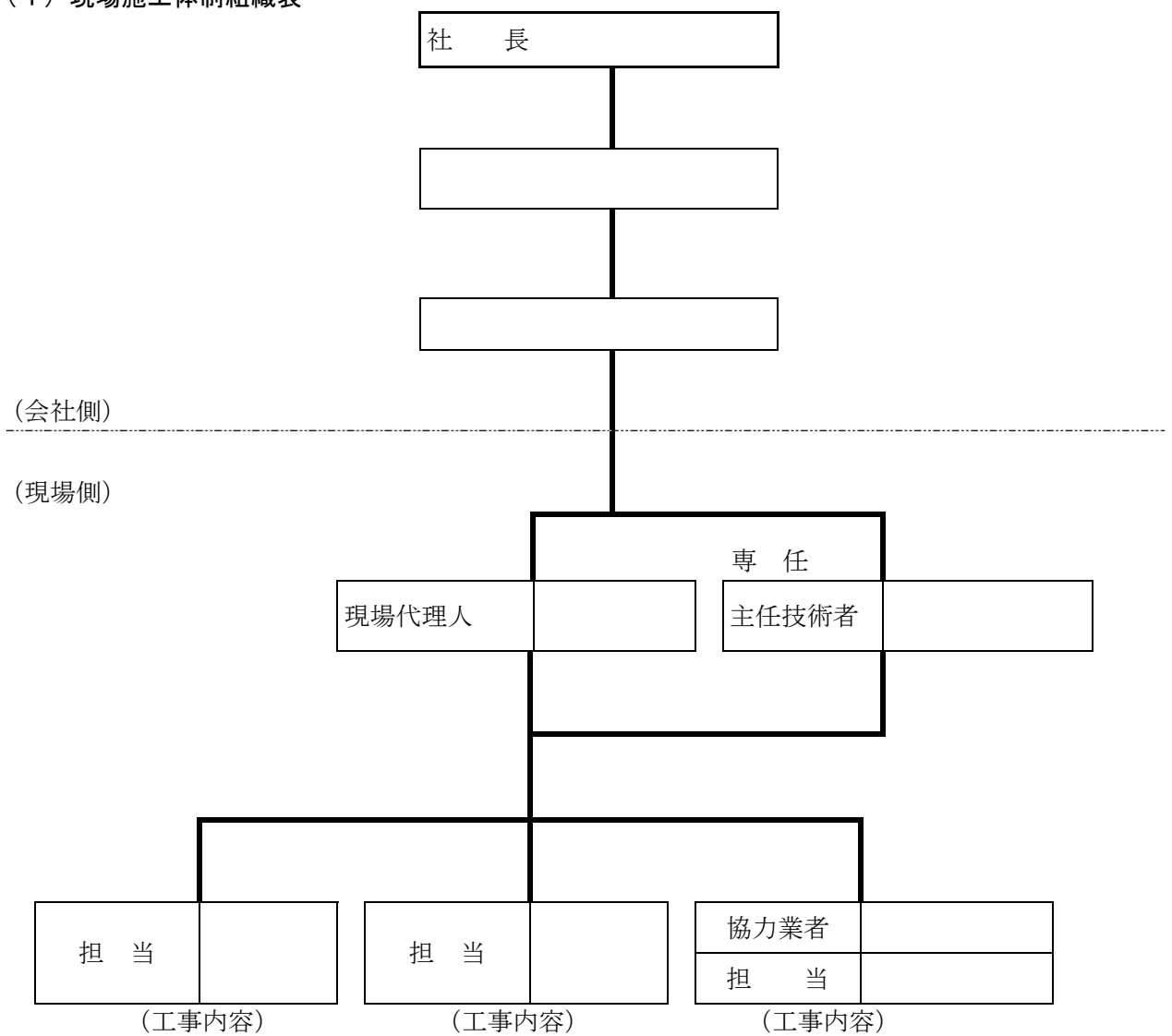
I 総合施工計画書

1. 工事概要

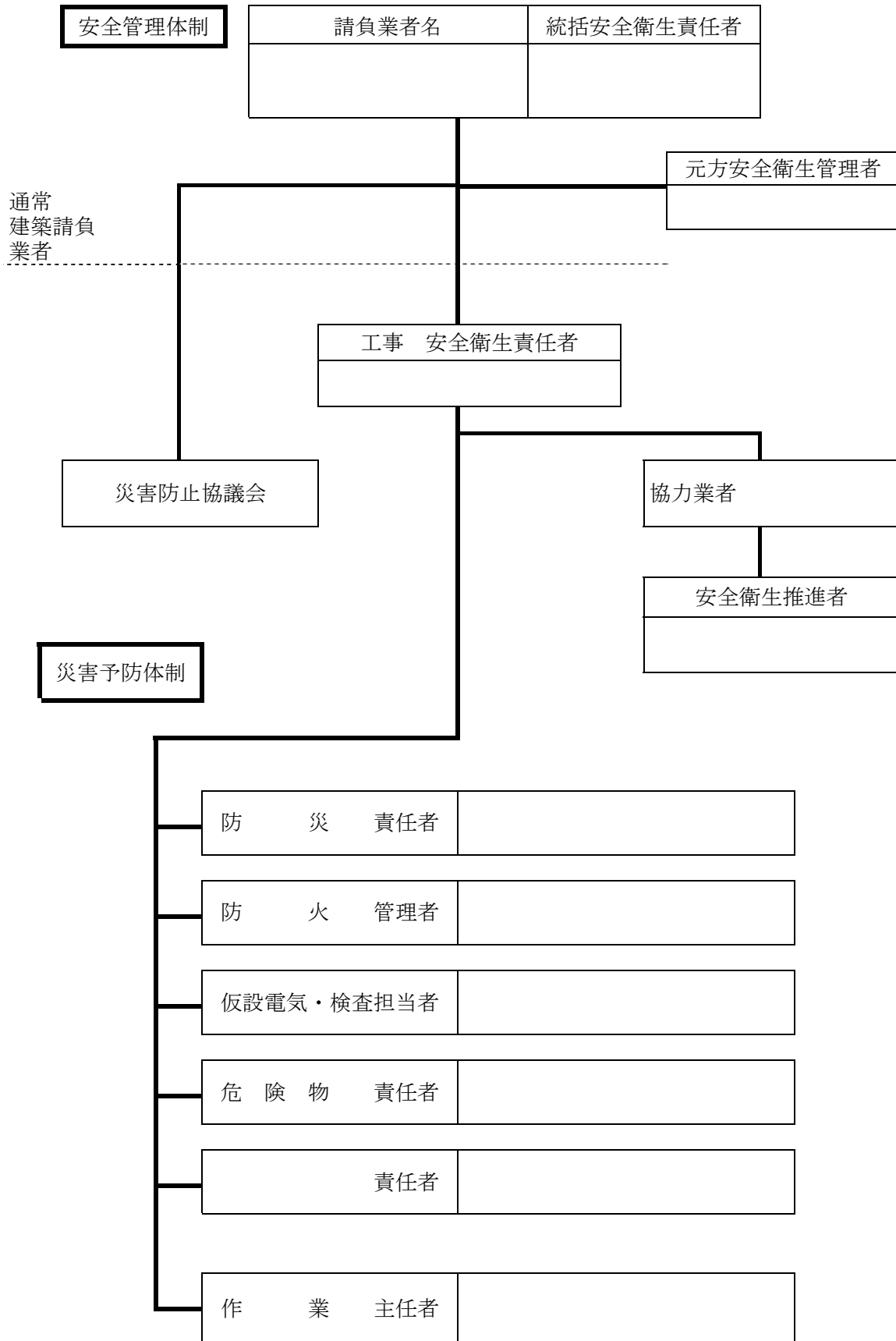
2. 付近見取図 (搬入ルート図等含む)

3. 請負者の組織

(1) 現場施工体制組織表

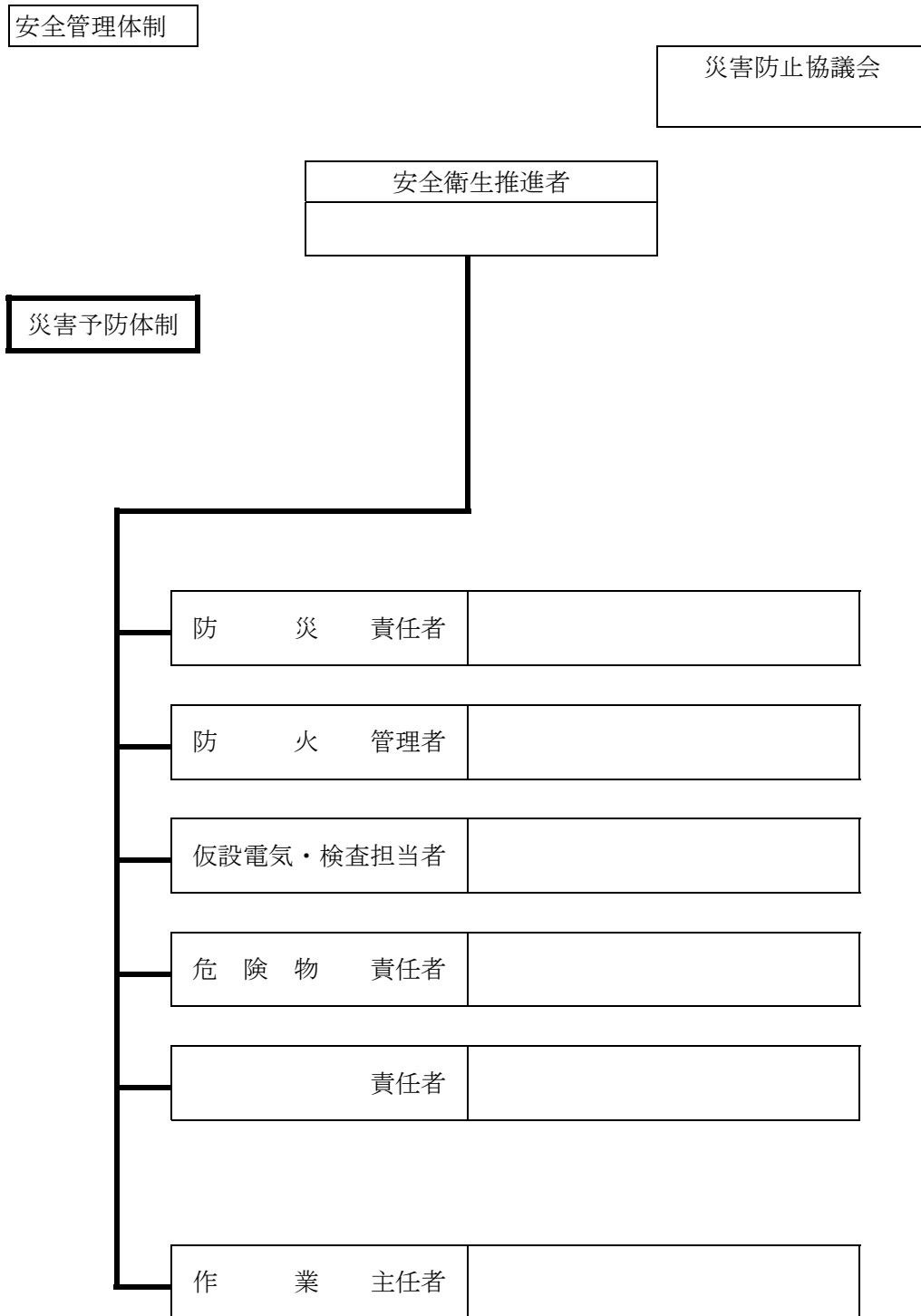


(2-1) 現場管理体制：常時 50人以上（同一場所で建築・設備の元請・下請合わせて）



(掘削・足場・溶接・酸欠・有機溶剤等)
 ※ 各責任者が元請け以外の場合は会社名も記入する

(2-2) 現場管理体制：常時 10～50人未満(同一場所で建築・設備の元請・下請合わせて)



(掘削・足場・溶接・酸欠・有機溶剤等)
 ※ 各責任者が元請け以外の場合は会社名も記入する

(3) 安全衛生管理計画概要

※ 安全衛生管理計画の作成及び教育にあたっては、福岡建設労務研究会発行の「安全ポケットブック」に基づきおこなうこと。記載例を参照のこと。

(4) 安全衛生管理計画表

(5) 施工に必要な資格者

(6) 作業員名簿

(7) 作業時間等(土・日・祝日・作業開始・終了時間等)

- ・作業時間 :
- ・日祭日作業の有無 :
- ・夜間作業の有無 :

4. 現場仮設計画

(1) 仮設物の大きさ及び配置

- ① 工事標示板
- ② 現場事務所
- ③ 搬入ルート(必要に応じて広範囲の地図を使用し、平日と休日の2通りあるものなど複数ルートすべて記入する。)その他、仮囲い、足場、発生材置場、産業廃棄物置場等も記入する。

(2) 電力・電話・給排水等の引込み並びに火を扱う場所等

※仮設がない場合は「該当なし」とする。

- ① 電力 引込
- ② 電話 引込
- ③ 給 水
- ④ 排 水
- ⑤ 火を扱う場所
- ⑥ 有機溶剤(シンナー等)の保管場所
- ⑦ その他危険物等の保管場所

(3) 工事施工のための仮設

- ① 矢板・水替え
- ② 足場及びリフト
 - ・足場：足場の種類、位置、高さ、ネットの有無、壁つなぎの間隔、最大積載量、昇降の方法、足場の組立て作業主任者の氏名などについて、詳しく記載してください
- ③ 運 搬
- ④ 養 生
- ⑤ 揚重機

※②、③項の内容について、必要に応じて図中に記入する。(色分け等にて明瞭化することが望ましい。)

(4) 仮設物の期間

5. 予想される災害・公害の種類と対策

予想される災害	対 策	備 考
1. 墜落災害		
2. 建設用機械等による災害		
3. 落下物災害		
4. 交通事故		
5. 火災事故		
6. 感電災害		
7. 機械工具による災害		
8. 酸素欠乏症等災害		
9. 火花塵埃災害		
10. 第三者障害		
11. その他		

6. 出入口の管理

1) 関係者以外の立入禁止(第三者に対する対策等)

①

(2) 出入口の交通安全

①

7. 危険箇所の点検方法

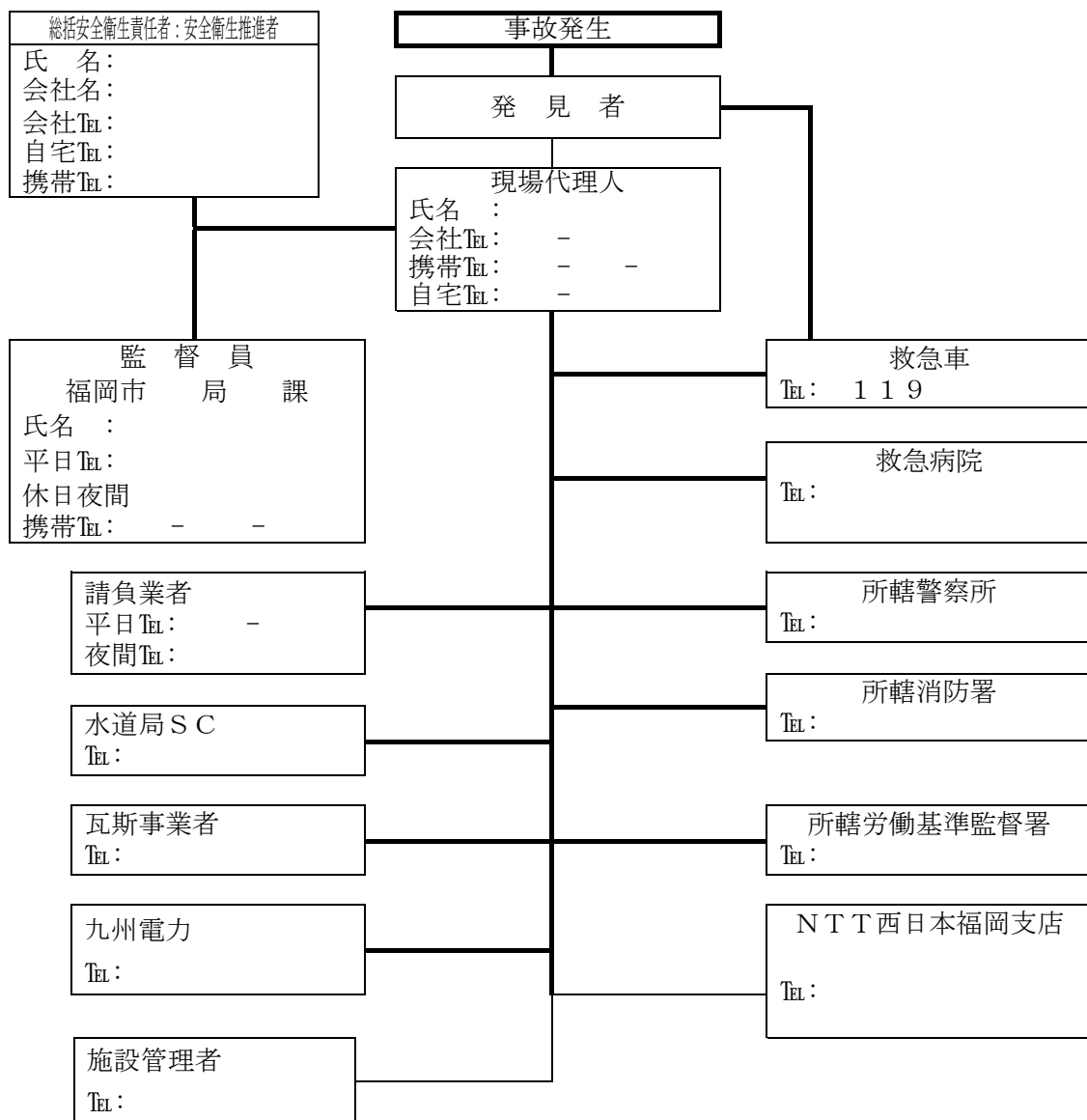
(1) 高所作業区域

①

(2) 重量物搬入区域

①

8. 緊急連絡体制(夜間も含む)



※改造工事の場合は、施設管理者の連絡先も記入する。

9. 火災予防

(1) 現場事務所

- ①
- ②

(2) 作業員詰所・材料置場

- ①
- ②

(3) 現場内

- ①
- ②

10. 夜間警戒

(1) 工事期間中

- ①
- ②

(2) 配管布設期間(令和 年 月 ~ 令和 年 月)

- ①
- ②

(3) 機器搬入後

- ①
- ②

(4) 機器据付以後

- ①
- ②

11. 服務規則

(1) 服装

- ①
- ②

(2) ヘルメット、安全靴

- ①
- ②

(3) 腕章

- ①
- ②

(4) 入場許可証

- ①
- ②

12. 工程表

※ 自社の様式がない場合、工事工程表(別紙-16)を参考とし添付する。

Ⅱ 工種別施工計画書 参考（電気設備工事）

1. 工事一般

(1) 建築、機械設備工事等との施工区分

- ①
- ②
- ③

(2) 機材搬入方法

- ①
- ②
- ③

(3) 機材の保管場所

- ①
- ②
- ③

(4) 作業場所

- ①
- ②
- ③

(5) 施工に必要な資格者

- ①
- ②
- ③

(6) 産廃処理（発生材処理）計画

2. 配管配線工事

(1) コンクリート埋設配管

- ①
- ②
- ③

(2) 天井隠ぺい配管

- ①
- ②
- ③

(3) 露出配管

- ①
- ②
- ③

(4) 配 線

- ①
- ②
- ③

3. 機器据付工事

- (1) 機器の支持及び機器の据付方法
 - ①
 - ②
- (2) 据付精度
 - ①
 - ②
- (3) 関連工事の別途機器との取合い条件等
 - ①
 - ②
- (4) 機器据付後の養生
 - ①
 - ②

4. 接地工事

- (1) 設計図書により施工する。なお、接地箇所及び種類は次のとおりである。
 - ①
 - ②

5. 耐震措置

- ①
- ②
- ③

6. 試験、検査

- (1) 官庁等検査を受ける工種は次のとおりである。
 - ①
 - ②
 - ③
- (2) 機材の試験を行う内容は次のとおりである。
 - ①
 - ②
 - ③
- (3) 施工の試験を行う内容は次のとおりである。
 - ①
 - ②
 - ③

7. 試運転調整

- ①
- ②

II 工種別施工計画書 参考（機械設備工事）

1. 工事一般

（1）建築、電気設備工事との施工区分

1) 機器据付工事 ※ 該当しない場合は「該当なし」と記入する。

- ① コンクリート基礎
- ② インターロック及び電源
- ③ 試運転調整

2) 配管・ダクト工事 ※ 該当しない場合は「該当なし」と記入する。

- ① 梁貫通孔、壁開口及びその補強
- ② 防火区画、耐震壁等
- ③ 天井吹出口用枠及び点検口
- ④ 外気ガラリ

（2）機器材搬入方法（通路、開口部、養生、クレーン使用等）

※ 吊上げ能力 20 ton 以上を使用する場合は、別途「下請負人（建設用重機械使用）通知書」（別紙-19）を提出 ※ 該当しない場合は「該当なし」と記入する。

1) 機器

- ①
- ②

2) 機材（配管・ダクト材等）

- ①
- ②

（3）機材（配管・ダクト材等）の保管場所

- ①
- ②

※ 保管場所がない場合は、「分割搬入のため現場に保管しない」等の旨を記入する。

（4）作業場所（位置、足場）（高所作業）

① 足場：足場の種類、位置、高さ、ネットの有無、壁つなぎの間隔、最大積載量、昇降の方法、足場の組立て作業主任者の氏名などについて、詳しく記載してください

②

※ [足場]は2 m以上の場合、実際に使用する具体的な足場を記入する。

（5）施工に必要な資格者

1) 機器据付に必要な資格者（ボイラー据付工事作業主任者等）

- ①
- ②

2) 施工に必要な資格者（溶接工、消防設備士等）

- ①
- ②

(6) 産業廃棄物の処理方法

- ※ 搬入機材の梱包材を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。
また、工事現場で発生した材料を処分する場合は、適正に処理すること。

(7) 残土処理方法

(8) 発生材(スクラップ)の処理方法

(9) 関係法規との適合

(10) 官公庁その他許認可、届出書類

2. 機器据付工事

(1) 機器据付方法(アンカー、耐震計算書、据付精度等)

- ①
- ②

(2) 機器据付後の養生

- ①
- ②

3. 配管工事

(1) 作業工具と工法

- ①
- ②
- ③

(2) 配管工法(要領)

- ① 管の接続方法
- ② 管の防錆方法
- ③ 管の支持方法

(3) 屋外埋設配管時の掘削、埋戻し(矢板、水替等含む)要領

「市街地土木工事公衆災害防止対策要綱」等準拠

- ① 建設用機械(掘削機械・バックホウ等)の使用状況(リース・資格等)

4. ダクト工事

(1) ダクト工法(要領)

- ① ダクトの接続方法
- ② ダクトの防錆方法
- ③ ダクトの支持方法

5. 保温、塗装工事

(1) 保温の施工方法(種別ごと)

- ①
- ②
- ③

(2) 継目の処理方法

- ①
- ②

(3) 外装材の防水処理方法

- ①
- ②

(4) 塗装の施工方法

- ①
- ②

6. 耐震措置

- ①
- ②
- ③

7. 試験、検査

(1) 官庁等検査を受ける工種は次のとおりである。

- ①
- ②
- ③

(2) 機材の試験を行う内容は次のとおりである。

- ①
- ②
- ③

(3) 施工の試験を行う内容は次のとおりである。

- ①
- ②

8. 試運転調整

- ①
- ②

9. 社内検査

- ① 体制・時期等
- ② 内容・要領等